

# 調査の概要

## 調査の概要

### 1 調査目的

県民の栄養素等摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、富山県健康増進計画、富山県食育推進計画等、県の各種計画や県民の健康増進を総合的に推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2 調査の実施要領

#### (1) 調査地域

県内全市町村

#### (2) 調査対象

各市町村の住民基本台帳より、令和3年12月1日現在で県内在住の20歳以上の方から無作為抽出した2,500人

#### (3) 調査時期

令和3年12月

#### (4) 調査方法

郵送配布・郵送回収。調査期間中に礼状兼提出依頼状を1回送付

#### (5) 調査項目

○簡易型自記式食事歴法質問票 (P5)

(BDHQ:brief-type self-administered diet history questionnaire 以下BDHQという)

身長、体重、生年月日、過去1か月間の乳類、魚類、肉類、野菜・果物類、菓子類、麺類、飲み物等の食物摂取頻度、平均的な1日のご飯とみそ汁の摂取量等

○生活習慣調査票 (P6～7)

食生活等に関する、生活習慣全般についてのアンケート調査

#### (6) 個人結果の還元

調査協力者には、食事診断結果票 (P8) を作成し、郵送にて結果を還元した。

### 3 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、健康対策室健康課で行った。集計客体は、下記のとおりであった。

BDHQ 質問票については、身長・体重無回答者、摂取エネルギー量 500kcal 未満、5000kcal 以上などの集計不能者を除いて集計を行った。

		総計	20 - 29 歳	30 - 39 歳	40 - 49 歳	50 - 59 歳	60 - 69 歳	70 歳 以上
総 数	BDHQ 質問票	1,199	44	97	202	184	229	443
	生活習慣調査票	1,226	45	101	205	187	231	457
男 性	BDHQ 質問票	564	17	43	95	94	122	193
	生活習慣調査票	576	18	45	95	95	123	200
女 性	BDHQ 質問票	635	27	54	107	90	107	250
	生活習慣調査票	650	27	56	110	92	108	257

#### 4 本書利用上の留意点

##### (1) 栄養素等摂取状況、食品群別摂取状況について

- ・栄養素等摂取量及び食品群別摂取量の算出は、BDHQの結果を用いた。BDHQは大規模な栄養疫学研究や栄養が従（他の要因が主である）研究に用いることを目的として開発され、大学・病院・診療所・自治体などが使用している。最近1か月の食事を75項目回答し、栄養素等摂取量及び食品群別摂取量を算出するものである。専用の栄養価計算プログラムにより約30種類の栄養素と約50種類の食品の摂取量を算出できる。春夏秋冬の季節ごとに約3か月おきに、非連続の4日間（平日3日、休日1日）の半秤量式食事記録法の結果との比較で、食品群別摂取量、栄養素摂取量いずれも成人については妥当性が確認されており、食事記録に相当する結果を得られる。しかしながら、BDHQにより算出された結果は、推定量であり、実際に摂取した忠実な摂取量を示すものではない。また、本報告書では全て粗値で結果を表記している。そのため、申告誤差があること等に十分に留意すること。
- ・食品群の分類は、BDHQの食品分類により算出した。(P3)

##### (2) これまでの調査との比較について

- ・本報告書の結果については、過去の県民健康栄養調査と、対象者の抽出方法、調査方法、調査票などが異なるため、単純比較できないことに留意すること。

	令和3年県民健康栄養調査 (BDHQ 質問票を利用)	平成28年県民健康栄養調査 (国民健康・栄養調査に上乘せ)
調査地域	富山県全域	富山県全域
抽出方法	層化無作為抽出	クラスター抽出（県内13地区）
調査対象	満20歳以上の男女	1歳以上の世帯員（調査項目によって20歳以上を対象）
調査期間	令和3年12月～令和4年1月	平成28年10月～平成28年11月
標本数	2,500人	1,602人（649世帯）
回収数 (回収率)	1,227人（49.1%）	798人（49.8%） ※調査項目によって差あり
調査方法及び調査票	・BDHQ 質問票 ・生活習慣調査票 ※郵送配布、郵送回収	・栄養摂取状況調査 ・身体状況調査・生活習慣調査 ※被調査者と面接し記載内容を直接確認
食事調査の方法	・直近約1か月間を振り返ってもらい、1週間の内どのくらいの頻度でその食品を摂取するか尋ねるとともに、食行動や調理・調味などに関する質問も行う。 ・回答を基に、食品成分表を用いて栄養素摂取量を計算する。	・1日分の摂取した食べ物を調査対象者が自分で重量を測定し、記録し、その後、栄養士による対面での聞き取りを行う方法。 ・食事記録から食品成分表を用いて栄養素摂取量を計算する。

##### (3) その他

- ・本調査の集計は、回答のあった者を対象とし、無回答は除外している。
- ・結果の概要における一部グラフについては、対象者数を（ ）内に併記した。
- ・本調査結果に掲載している数値は四捨五入のため、内訳合計が総数と合わないことがある。
- ・複数回答と記載のある集計は、1つの質問に対して2つ以上の回答を可能としており、回答数の合計を回答者数で割った比率の合計は、100%と一致しない場合がある。

## &lt;食品分類表&gt;

食品群	BDHQ回答項目
穀類	めし
	パン
	そば
	うどん
	ラーメン
	パスタ類
いも類	いも
砂糖・甘味料類	砂糖
豆類	とうふ・油揚げ
	納豆
緑黄色野菜	漬物（緑黄色野菜）
	緑黄色野菜
	にんじん・かぼちゃ
	トマト
	100%ジュース（摂取量×0.225＝緑黄色野菜）
その他の野菜	漬物（その他の野菜）
	レタス・キャベツなどの生野菜
	キャベツ
	だいこん・かぶ
	根菜
果実類	柑橘類
	かき・いちご
	その他の果物
	100%ジュース（摂取量×0.775＝果実類）
きのこ類	きのこ
藻類	海藻
魚介類	いか・たこ・えび・貝
	骨ごと魚
	ツナ缶
	干物
	脂がのった魚
	脂が少ない魚
肉類	鶏肉
	豚肉・牛肉
	ハム
	レバー
卵類	たまご
乳類	低脂肪乳
	普通乳
	アイスクリーム
油脂類	油
菓子類	洋菓子
	和菓子
	せんべい
飲料類	緑茶
	紅茶・ウーロン茶
	コーヒー
	コーラ
嗜好飲料類	日本酒
	ビール
	焼酎
	ウィスキー
	ワイン

調味料・香辛料類	しょうゆ・ソース（食塩換算量）
	食塩
	マヨネーズ
	みそ汁×7.7/150
	めんープ×1.5/100 <sup>※</sup>
栄養価計算に含まない <sup>※</sup>	魚（いか・たこ・えび・貝を含む）を使った料理 さしみ・すし
	魚（いか・たこ・えび・貝を含む）を使った料理 焼き魚
	魚（いか・たこ・えび・貝を含む）を使った料理 煮魚・鍋物・汁物・みそ汁
	魚（いか・たこ・えび・貝を含む）を使った料理 天ぷら・揚げ魚
	肉（ハム・ソーセージを含む）を使った料理 焼肉・ステーキ・グリル
	肉（ハム・ソーセージを含む）を使った料理 ハンバーグ・カレー・ミートソースなどの洋風料理
	肉（ハム・ソーセージを含む）を使った料理 揚げ物・天ぷら
	肉（ハム・ソーセージを含む）を使った料理 炒め物
	肉（ハム・ソーセージを含む）を使った料理 和風の煮物・鍋物・どんぶり物・汁物・みそ汁
	柑橘類（季節）
	かき（季節）
	いちご（季節）

※ 食事歴法の考え方をを用いて、調理食塩・調理油・調理砂糖の摂取量を推定するために用いている。





問17 あなたは、サルコペニア（筋肉減少）※ という言葉やその意味を知っていますか。 0 5

- 1. 言葉も意味もよく知っている
- 2. 言葉も知っているし、意味も大体知っている
- 3. 言葉は知っているが、意味は知らない
- 4. 言葉も意味も知らない

※サルコペニアとは、加齢に伴う筋力の低下のことをいい、サルコペニアになると要介護状態になるリスクが高くなります。

問18 あなたは、定期的に体重を測っていますか。  
 1. はい → 問18-1 ^  2. いいえ → 問19 ^

問18で1（はい）と答えた方にお尋ねします。

問18-1 測定の種類としてあてはまる番号に☑をつけてください。

- 1. 毎日
- 2. 週1回以上
- 3. 月1回以上（週1回来済）

問19 あなたの食べ方や食事の様子についてお尋ねします。  
 次のア～オの質問について、それぞれあてはまる番号に☑をつけてください。

ア. ゆっくりよくかんで食事をする	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 2. いいえ
イ. 半年前に比べて固いものが食べにくくなった	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 2. いいえ
ウ. お茶や汁物等でむせることがある	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 2. いいえ
エ. 口の渾きが気になる	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 2. いいえ
オ. 左右両方の奥歯でしっかりと噛みしめられる	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 2. いいえ

問20 かんで食べるときの状態について、あてはまる番号を1つ選んで☑をつけてください。

- 1. 何でもかんで食べることができる
- 2. 一部かめない食べ物がある
- 3. かめない食べ物が多い
- 4. かんで食べることはできない

問21 あなたはこの1か月間に、誰までも自分以外の人が吸っていたたばこの煙を扱う機会（受動喫煙）がありましたか。次のアからカすべての場所について、あてはまる番号を1つ選んで☑をつけてください。 0 6

学校、飲食店、遊技場などに勤務していて、その職場で受動喫煙があった場合は、「イ 職場」欄に記入してください。

	1 ほぼ毎日	2 週に数回 程度	3 週に1回 程度	4 月に1回 程度	5 全く なかった	6 行かなかった
ア. 家庭	<input type="checkbox"/>					
イ. 職場	<input type="checkbox"/>					
ウ. 学校	<input type="checkbox"/>					
エ. 飲食店	<input type="checkbox"/>					
オ. 遊技場 (ゲームセンター、 パチンコ、競馬場など)	<input type="checkbox"/>					
カ. 行政機関 (市役所、町村役場、 公民館など)	<input type="checkbox"/>					

**【災害時の食の備えについてお伺いします。】**

問22 あなたの世帯は、災害用の食料を用意していますか。  
 1. あり → 問22-1 問22-2 ^  2. なし → 調査はこれで終了です。

問22で1（あり）と答えた方にお尋ねします。

問22-1 非常用の食料は、世帯人数分として何日分を想定して用意していますが、日数を右詰めで記載してください。

日分

問22-2 非常用食料として、どのようなものを用意していますか。あてはまる番号すべて選んで☑をつけてください。

- 1. 主食（レトルトご飯、めしを乾燥させた加工米、乾パン等）
- 2. 副食（肉・魚等の缶詰、カレー・シチュー等のレトルト食品等）
- 3. 飲料（水、お茶等）

調査はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

＜結果票＞

あなたの最近1か月間の食習慣についてお尋ねしました

性別: 男

年齢: 30

食習慣調査 (BDHQまたはDHQ) にお答えいただいた内容を元に、健康の維持・増進、生活習慣病の予防に役立てていただけるように簡単な結果を作りました。でも、答え方によって結果が左右されますので、あくまでも「およその結果」とお考えください。

【結果の使い方】

- 質問号: 現在のままの食事を続けることをお勧めします。
- 黄色質問号: 他の項目とのバランスを考えながら、少し気をつけてください。
- 赤色質問号: この項目を中心とした食習慣の改善を目指してください。

黄色質問号や赤色質問号がついている場合には、それぞれの項目の注意をご覧ください。

こんな食べ物や食べ方に注意しましょう。

こんな病気に気をつけましょう。

太り過ぎ、やせ過ぎではありませんか?

26.6 kg/m<sup>2</sup> 体重9kgを身長1mの2乗で割った値で、18.5未満がやせ、25.0以上が肥満の目安になります。太り過ぎの場合は、食事(エネルギー)制限だけでなく運動もお勧めです。

太り過ぎ⇒糖尿病、高血圧症、心臓病、やせ過ぎ⇒骨粗鬆症

カルシウムをじょうぶに取っていますか?

牛乳や乳製品、豆腐や絹豆腐などの大豆製品、そして、野菜にもたくさん含まれています。骨と食べる魚もお勧めです。

骨粗鬆症

鉄をじょうぶに取っていますか?

動物性タンパク質はほとんどの食品に含まれています。好き嫌いせず、いろいろな食品を食べることが大切です。加工食品に少ない傾向があります。

貧血

ビタミンCをじょうぶに取っていますか?

果物、野菜、いも類に多く含まれています。熱や水に弱いので、調理方法に気をつけましょう。

(高血圧症・脳卒中などの循環器疾患・腎がん)

食物繊維をじょうぶに取っていますか?

精製度の低い穀類、野菜、豆類、きのこ類、海苔類に多く含まれています。

循環器疾患・糖尿病(大腸がん)

カリウムをじょうぶに取っていますか?

野菜、果物、精製度の低い穀類、豆類など、いろいろな食品に含まれています。

高血圧症・脳卒中などの循環器疾患・(骨粗鬆症)

食塩を取り過ぎではありませんか?

調味料だけでなく、加工食品にも多く含まれています。みそ汁やめん類のスープにも多く含まれているので、注意しましょう。

高血圧症・脳卒中などの循環器疾患・腎がん(骨粗鬆症)

脂肪を取り過ぎではありませんか?

お肉に使う油(揚げ物や炒め物)、調味料(マヨネーズやドレッシング、バターやマーガリン)、揚げ物、洋菓子に多く含まれています。取り過ぎないように、少なめにすることを勧めます。

心臓病などの循環器疾患(乳がん)

飽和脂肪酸を取り過ぎではありませんか?

乳製品や肉類(鶏肉以外)、洋菓子などに多く含まれています。食べ過ぎないように気をつけましょう。脂質異常症(高脂血症)の人は特に注意が必要です。

心臓病などの循環器疾患

コレステロールを取り過ぎではありませんか?

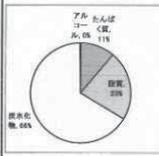
卵や肉、乳類に多く含まれています。脂質異常症(高脂血症)の人は少し控えめにした方がよいでしょう。

心臓病などの循環器疾患

数字は各項目の目標値が訂正した結果です。数字よりも、栄養素ごとに毎日の食生活を比べて、あなたの食習慣の特徴を把握するようにしてください。

うらも見ましょう

3大栄養素(エネルギーになる栄養素)のバランスもたいせつです



もっとも大切な栄養素: たんぱく質はちゃんと食べていますか?

1日当たりに食べる量 (g) で示します

あなたの摂取量: 70g

あなたの食べたい量: 60g 推奨値以上

取り過ぎが気になる人が多いため、脂質(脂肪)と炭水化物は、エネルギー(カロリー)全体に占める割合(%)で示します

あなたの摂取量: 22% (脂肪)

あなたの食べたい量: 20~25%程度

エネルギー(カロリー)の源: 炭水化物

あなたの摂取量: 65% (糖質)

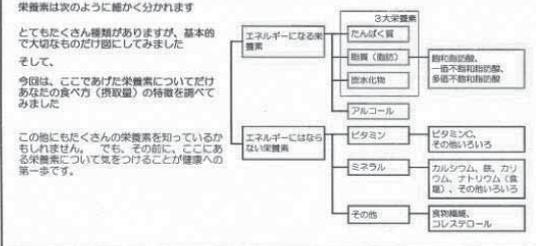
あなたの食べたい量: 50~70%程度

お酒(アルコール)を飲みすぎではありませんか?

あなたの摂取量: 0g (日本酒換算)

高血圧・脳卒中・口や喉のがん・肝臓病や、糖尿病・腎臓病などさまざまな問題を引き起こします。

【おまけ】栄養についての基礎知識 - ちょっと難しいけど



【健康的な食べ方は、未来の自分とご家族への贈り物です】

BDHQ\_Gen 2018/4/01 © Soath, All Right Reserved